

忘れ物傘の「傘 to 傘」 リサイクルの取り組みについて

西日本旅客鉄道株式会社は、「JR 西日本グループ環境基本方針」のもと、循環型社会構築に貢献できる取り組みを推進しています。この度、ジェイアール西日本商事株式会社、オカモト株式会社、平林金属株式会社と 4 社協働で、駅や列車における忘れ物傘に着目したサーキュラーエコノミーの取り組みを始めましたのでお知らせします。

1. 忘れ物傘について

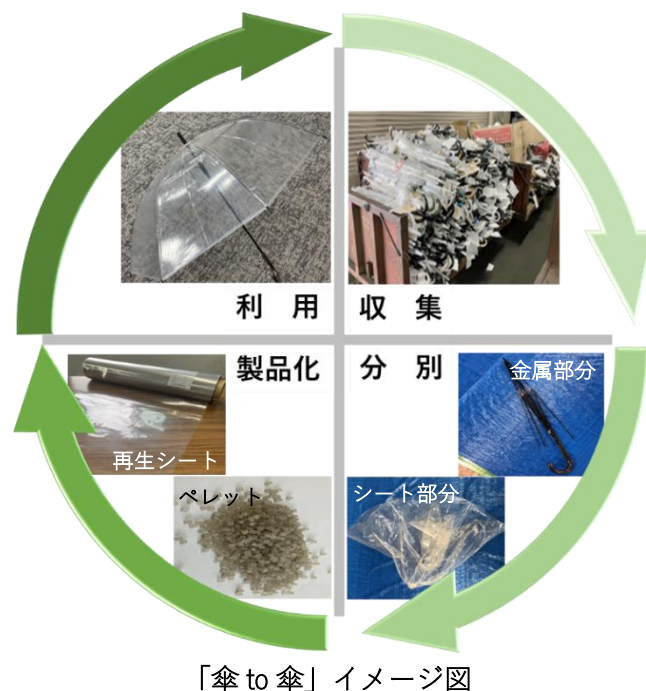
駅や列車における傘の忘れ物は、1 ヶ月で約 9,000 本(近畿エリア)にも及び、そのうち廃棄せざるをえない傘は、主に産業廃棄物処理を行っています。

2. 忘れ物傘の「傘 to 傘」 リサイクルの流れ

- ①廃棄する傘のうち、ビニール傘を収集
(約 4000～5000 本/月)
 - ②金属部分とシート部分に分別
 - ③シート部分についてペレットへ加工し、
再生シートを生成、製品化
 - ④ビニール傘として利用
- ※ペレットは傘以外の製品にも利用可能
例：ネームホルダー、クリアファイル、小物ケース等

3. 導入効果

今回の取り組みにより、シート部分の再資源化が可能となり、ビニール傘のリサイクル率は重量比で約 90%まで向上、産業廃棄物の削減と資源の有効利用が図れます。



「傘 to 傘」イメージ図

4. 今後の予定

- ・リサイクル傘は、株式会社 JR 西日本ヴィアインが運営する JR 西日本ヴィアインホテルズの貸し出し傘として導入を予定しています。
- ・リサイクル傘の活用先の拡大や、ペレットを活用した傘以外の製品化を検討していきます。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、12 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

